

---

◇熊 谷 良 夫 議 員

○議長（森元淑雄） 次に、12番、熊谷良夫議員の一般質問を許可いたします。熊谷良夫議員は登壇願います。

（12番 熊谷良夫議員 登壇）

○12番（熊谷良夫） おはようございます。通告に従いまして、一般質問を行います。

観光施設の利用実態の少ない公衆トイレ3か所を休止することについて、お伺いいたします。

町内3か所の公衆トイレに、3月いっぱい閉鎖するとの大きな貼り紙がしてありました。町民の中には、あまりにも急な話でとまどっている方も多くいるのではと思います。

3月20日の説明会では、当局の計画を一方的に押しつけるのではなく、町民の声に真摯に向き合い、話を聞いてほしいと思います。できれば町長にも出席していただき、町民の声を直接聞いていただきたいと思います。

ここで、私の利活用についての意見を述べ、これまでに至った経緯と、事の真意を町長にお伺いいたします。

土崎地区公衆トイレは野球場に隣接しており、時期によっては最も利用されるトイレの一つだと思います。もっと利用しやすいようにリフォームなどの改善が必要です。

馬町公衆トイレ、米町公衆トイレは町の中心地にあり、これから雪が解け、春になると温かな陽気に誘われ、観光客が訪れます。古くなったから、利用者が少ないから閉めるのでは納得できません。利用者が少ないのは何らかの理由があるはずです。それを改善し、利用しやすい施設にすることが必要です。例えば、照明をもっと明るくし、ウォーム便座、シャワートイレ、お湯の出る手洗い場などにしてほしいと思います。今は、どの施設でも常識です。どの観光地に行っても、きれいなトイレは売りの一つになっています。また、もっと親しみやすいネーミングに変えるべきと考えます。

もし当局が以前から閉鎖することを考えていたならば、湧太郎、水の休み場の改修計画に公衆トイレの休止後の利活用も計画に入れて、観光施設の総合的な整備計画を作成すべきではなかったのかと思います。思いつきの場当たり的な政策と言われかねないと考えます。

経費を賄うため利用料を調査する案も出したようですが、他の観光地で利用料を取っているのは、特別なところを除いては見たことがありません。道の駅などの同様の施設でも徴収はしていません。

一般的に考えますと、利用者数の調査は、春、夏、秋の繁忙期に行うのが普通ではないでしょうか。この冬に帳尻合わせみたいに急にやるべきことではないと思います。

休止計画の立案は、いつ頃行われ、利用者数調査は、いつ、どのような形で行い、1日の利用者数を出したのか。また、どのような基準で閉鎖をすることに決めたかをお伺いいたします。

広報美郷3月号の町長のコラムにありましたが、もしも美郷町の台所事情が大変で、細かなことでも見直しをしていかなければならないとすれば、今回のことや、ちまちま町民福祉の予算を切り詰め、町民のささやかな楽しみを奪うのではなく、大体の発想の転換と大英断による切り詰めが必要ではないでしょうか。

合併20周年、そんな時期に来ているのではないかと、今回の公衆トイレの問題を受けて感じましたが、町長の見解をお伺いいたします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） ただいまのご質問にお答えいたします。

美郷町では、令和5年3月に美郷町事務事業最適化計画を策定し、限られた財源と職員体制で住民サービスの維持や利便性の向上を図るため、事業のスクラップ・アンド・ビルドを行い、真に必要な行政サービスについて、その質を高めながら継続して提供していくことを目指し、全方位で各般の取組を重ねてきております。

町内の公衆トイレについては、主に観光用トイレとしての位置づけですが、最近はコンビニエンスストアが増加し、利用できるトイレが増えてきていること、当該トイレは冬期間の利用実態が低いように見られ、ランニングコストに見合った効果を得ているとは言い難いことなどを踏まえ、その計画において、利用状況を調査し、施設存続を検討するとしたものです。

町では、それを踏まえ、美郷町公共施設等最適化実施計画も改訂を行い、公衆トイレについては利用状況を調査し、廃止、解体を含めた再評価を行うとしており、この計画改訂についても令和5年3月16日に議員各位にもご説明しているところです。

こうした計画策定及び改訂の背景には、合併特例債終了後を見据えて、計画的に歳出構造の見直しに着手することで後年度に備える目的があります。さらに今年度は、令和7年度予算編成において政策的経費を少しでも捻出するため、経費削減に関する取組方針を定め、着実に歳出見直しに取り組んできたところです。

このたびの公衆トイレに関する対応は、こうした経緯の中で取り組んでまいりました。人がセンサー前を通るとカウントするセンサーカウンターを令和6年6月からトイレに設置し、その利用状況を調査して、11月8日までの結果について、1日の平均利用回数としてまとめました。その結果ですが、本堂地区公衆トイレが11回、土崎地区公衆トイレが12回、塚地区公衆トイレが14回、一丈

木地区公衆トイレが55回、馬町公衆トイレが3回、米町公衆トイレが2回というものでした。

この調査結果を踏まえ、利用回数が少なく、近くに代替となる公共施設がある土崎地区公衆トイレ、馬町公衆トイレ、米町公衆トイレを休止する方針とし、今年2月3日に議員各位に説明したところです。

その説明において、議員より、地域住民への周知に配慮してもらいたいとのご意見をいただくとともに、米町行政区からは直接問合せがあったことを踏まえ、町としては2月24日、まずは米町行政区で説明会を開催したところです。

休止予定の公衆トイレがある馬町行政区、土崎北部行政区、土崎南部行政区にも個別説明会の開催を打診いたしましたが、馬町行政区では、個別説明が必要な場合は役場職員が対応する旨回覧するのでいい。土崎北部行政区では、自治会長に資料を配付して、地域内で共有するのでいい。土崎南部行政区では、3月の広報お知らせ版配布の際に説明資料を配布するのでいいとのことで、現時点では米町行政区以外で個別説明の予定はありません。

なお、町民全体向けの説明会は、2地区で3月20日開催を予定しており、私も出席できる説明会には出席する予定であります。

米町行政区での説明会についてですが、10名の町民が出席され、利用実態はもっと多いのではないかと、出席者の総意として米町の公衆トイレは残してほしいというご意見を頂戴いたしました。トイレに対する町の基本的整理とは違う認識でしたが、町ではそのご意見を受け止めて、改めて検討を重ねました。その結果、美郷町公共施設等最適化実施計画の方向性は堅持しつつも、出席者の総意という部分を重く受け止め、米町行政区にある公衆トイレについては、当面トイレ機能を維持する方針に改めました。

残りの公衆トイレにつきましても、説明会において取組の背景等も説明した上で、休止に関してご理解をいただけるトイレについて、今後の利活用を検討していくようにしてまいりたいと存じます。

また議員から、大胆な発想の転換と大英断による予算の切り詰めというご提案がありましたが、収入を超える支出が見込まれる場合、影響の小さいところで、かつ、できるところから支出を見直していくことは、家庭生活においても会社経営においても当たり前のことではないかと思います。それに着手せずに、大胆に支出予算を切り詰めることは通常のケースではないものと私は認識しております。

なお、公共施設の在り方に関わる美郷町公共施設等最適化実施計画は令和8年度までが計画期間となっており、令和9年度からは次期計画に入ります。次期計画策定に当たっては、美郷町の人口

推移や社会環境、財政状況等に鑑み、財政健全化を基本認識としながら、公共施設等の最適化に関して新たな視点で臨むことが求められる可能性があることも当然認識しているところです。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）熊谷良夫議員の再質問を許可いたします。

○12番（熊谷良夫） 再質問というわけではありませんけれども、町長の声があまりにも早口で、メモをすることを忘れましたが、もし聞き逃したらあれですけども、次の3月20日の米町には町長も出席していただけるということですか。それと、いつも思っていることなんですけれども、いわゆる、いろいろ計画は計画でその都度見直しして、私たちに提案されているものと思いますので、やはりいろいろな事例を踏まえて見直すということは非常に大切なことではないかと思っております。

それから私が一番言いたいことは、当局では計画、立案はずっと前からやっていると思いますが、当事者にしてみれば、その跡地の利用計画も示されないまま、とにかく閉めますよというような形、そういう事例がいろいろありますので、そういうことのないようにお願いしたいと思えます。そのことについて、町長、もう一言お願いします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は自席でお願いします。

○町長（松田知己） ただいまの再質問にお答えいたします。

まず、3月20日の説明会は、米町、馬町といった個別の行政区に対しての説明会ではなくて、六郷地区、千畑地区という全体に対する説明会です。私は3月20日午前中、所用がありまして、午後からの説明会に出席する予定ではありますので、千畑地区の説明会に出席する予定です。

それから、2つ目の再質問ですが、公共施設について、利用計画を示さずに閉めるということについてのご見解がありましたが、ケース・バイ・ケースだろうと思います。このたびのトイレについて、広く町民から、閉めた後の施設の利用を伺うと同時に、地域の方々からも伺うことが、公共施設のありようについて、住民が望む利活用になるという判断で、そういうようにいたしました。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再々質問ありますか。（「はい」の声あり）熊谷良夫議員の再々質問を許可します。

○12番（熊谷良夫） 再質問でちょっと聞き忘れましたけれども、今カウンターといいますか、カメラ、機械がついていますよね。あれは何なんですか。それから、防犯カメラもついているはずなんですけれども、それをもってカウントを変えとか、カウントするとか、もうちょっと金のかから

ない方法がいろいろなかったのではないかと思いますけれども。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は自席でお願いします。

○町長（松田知己） ただいまの再々質問については、実務的なことですので、担当課長に答弁させます。

○議長（森元淑雄） 商工観光交流課長、答弁願います。

○商工観光交流課長（高橋晋一） ただいまの再々質問についてお答えいたします。

カウンターについては、米町行政区から、これまでも令和6年6月からセンサーカウンターという形で設置しておりましたが、利用実態がもっと多いのではないかとというご指摘を受けて、その説明会、2月24日の後にカメラという形で設置をさせていただいております。

お金をかけないでというご指摘ですが、こちらについては庁内で所有しているものを利用する形でカウントしておりますので、費用的にはかかっておりません。

説明は以上です。

○議長（森元淑雄） これで12番、熊谷良夫議員の一般質問を終わります。